

「瀬戸内資源循環プロジェクト」始動のお知らせ
～食品容器を再び食品容器へ、企業連携による新たなリサイクルモデル～

P S ジャパン株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：顕谷 一平）は、使用済みプラスチック食品容器の回収、再資源化、再生原料化、成形および販売に携わる 6 社と連携し、スーパーマーケットの店頭で回収した使用済みプラスチック食品容器をケミカルリサイクルにより再資源化し、再びプラスチック食品容器として再生・活用する「瀬戸内資源循環プロジェクト」を開始することをお知らせします。

本プロジェクトでは、これまで水平リサイクルが困難とされてきた色柄発泡容器（PSP）や透明容器（OPS）を含む使用済みプラスチック食品容器を対象に、回収から高度選別、ケミカルリサイクル（熱分解による油化）、石油精製、スチレンモノマー化、さらにケミカルリサイクル由来ポリスチレン樹脂（マスバランス方式）の製造と成形品の販売までを一貫して行う水平リサイクルループを構築します。これにより、持続可能な循環型社会の構築を目指します。

また本プロジェクトは、瀬戸内エリアで使用済みプラスチック食品容器を回収・選別し、油化ケミカルリサイクルにより再資源化した原料を活用する地域循環型リサイクル・原料調達スキームであり、再商品化された製品は、地域を越えて全国へ展開され、環境負荷低減に貢献します。



✓ **連携企業各社の役割**

株式会社オガワエコノス（事業拠点：広島県福山市）：使用済み容器の回収・高度選別・加工

株式会社ＣＦＰ（事業拠点：岡山県笠岡市）：熱分解による油化

旭化成アドバンス株式会社：熱分解油のオフテイク石油精製接続 ※商社行為により事業拠点なし

太陽石油株式会社（事業拠点：愛媛県今治市）：熱分解油からの分留・基礎化学品製造

旭化成株式会社（事業拠点：岡山県倉敷市）：基礎化学品からスチレンモノマー製造・供給

ＰＳジャパン株式会社（事業拠点：岡山県倉敷市）：ポリスチレンなどの製造・供給

シーピー化成株式会社（事業拠点：岡山県井原市）：再生樹脂を用いた食品容器の製造

✓ **今後の展望**

本スキームでは、シーピー化成様中心に、2026 年までにご賛同いただけるスーパーマーケット様と協議を進め、同年中には岡山・広島エリアの店舗において使用済み容器の回収を開始する予定です。2027 年には、再生プラスチックを使用した製品の販売開始を目指していきます。

✓ **各社代表コメント（共同メッセージ）**

「本プロジェクトは、企業の垣根を越えた協業により、地域に根差した資源循環の実現を目指す取り組みです。私たちは、日々使用されるプラスチック容器を通じ、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みを進め、循環型社会の構築に向けて引き続き挑戦し、持続可能な未来の実現に貢献したいと考えています。」

＜ご参考＞

ＰＳジャパン株式会社の概要

本社：東京都文京区小石川一丁目４－１

社長：顕谷 一平

株主：旭化成株式会社 62.07%、出光興産株式会社 37.93%

資本金：50 億円

売上高：約 680 億円（2024 年度）

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

ＰＳジャパン株式会社 企画管理部、サステナビリティ推進部

ＴＥＬ：03-5689-6543